

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	設	三浦しらとり園
指定管理者	者	社会福祉法人清和会
指定期間		平成23年4月～平成33年3月
施設所管課		障害サービス課（ ）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

提案どおりに取組みを実施し、収支状況も安定している。また、高齢利用者への様々な配慮や個々の利用者の特性に応じた生活の場への移行等に積極的に取り組んでおり、B評価とした。

- ：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- ：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況に
- Dについては、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月14日		○	×	×	無	
5月	6月12日		○	×	×	無	
6月	7月18日		○	×	×	無	
7月	8月14日		○	×	×	無	
8月	9月12日		○	×	×	無	
9月	10月12日		○	×	×	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	職員配置、経費節減等の観点からの効率的な施設運営	非常勤の運転手を配置し、給食調理業務を委託方式とした。また、冷房稼働時間の調整等、節電を実施し、光熱費の削減を図った。

	提案内容	実施状況
2	<p>利用者サービスの向上への取組み</p> <p>(1) 食生活環境の改善 (2) 外出機会の増加のための車の確保 (3) 法人内施設との相互の施設交流 (4) 個別処遇の確立とチームアプローチ (5) 強度行動障害事業への対応</p>	<p>(1) 昨年度から厨房に温冷配膳車9台を導入し、適温の給食提供を実施した。また、選択食の導入のほか、高齢者寮ではソフト食を導入した。</p> <p>(2) 日本財団に福祉車輛の申請を行っている。</p> <p>(3) 清和会が主催する納涼祭や体育祭に利用者・職員が参加。三浦しらとり園のオープンデーには準備から屋台の出店、片付けまで法人内各施設から職員と利用者が参加し交流を深めている。</p> <p>(4) 理学療法士（常勤・兼務）を配置し、医師との連携を図りながら機能訓練のマネジメントの体制を整備している。栄養ケアマネジメントについては管理栄養士、看護師等の連携を図り昨年より栄養マネジメント加算を導入した。</p> <p>(5) 強度行動障害専任職員には県立時代に受講していた自閉症セミナー（5日）を受講する他、一般職員も中井やまゆり園の強度行動障害基礎講座や現任研修を受講し、支援レベルの底上げを図っている。</p>
3	<p>診療所の医療水準の維持</p>	<p>引き続き湘南病院に診療業務を委託し水準の確保を図るとともに、家族会の要望を取り入れ通所利用者の健康診断項目を増やし、診療等の便宜を地域サービス利用者に拡大している。</p>
4	<p>施設の生活水準の改善</p> <p>(1) 居室の個室化 (2) 通所部門の分離等 (3) 施設の再整備及び強度行動障害事業の環境整備</p>	<p>三浦しらとり園中長期計画策定会議にて、検討している。</p>
5	<p>施設入所者の地域生活移行への取組</p>	<p>他障害者支援施設へ積極的に働きかけて加齢児1名の移行を図るとともに、もう1名は本人の生活場所としてよりふさわしいと判断された特別養護老人ホームへの移行を図った。</p>

	提案内容	実施状況
6	職員の人材育成	特に新採用職員を対象とした救急救命研修を多く行ったほか、個別支援計画などの研修を行い基礎的な支援技術等の向上を図った。
7	地域との連携体制の構築	横須賀三浦地区及び横須賀市知的障害施設協会に参加し連携を図るとともに、各市町村、鎌倉三浦地域児童相談所や横須賀市児童相談所等と協力関係の中で、短期入所事業や日中一時支援事業、児童の一時保護を行っている。

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		709,152	513,929	8,795	1,231,876	339,764	892,112
予算額	前年度	835,794	547,740	13,141	1,396,675	1,396,675	0
	上半期	414,820	273,870	6,571	695,261	698,337	▲ 3,076
	下半期	420,974	273,870	6,570	701,414	698,338	3,076
	今年度	695,425	604,514	7,307	1,307,246	1,307,246	0
	上半期	345,282	302,257	3,653	651,192	628,083	23,109
	下半期	350,143	302,257	3,654	656,054	679,163	▲ 23,109
上半期実績額	4月	47,299	1,336	2	48,637	79,928	▲ 31,291
	5月	47,299	7,872	118	55,289	74,269	▲ 18,980
	6月	108,787	48,931	227	157,945	148,228	9,717
	7月	47,299	54,058	256	101,613	104,515	▲ 2,902
	8月	47,299	55,226	30	102,555	82,354	20,201
	9月	47,299	56,939	125	104,363	69,081	35,282
	今年度 上半期合計	345,282	224,362	758	570,402	558,375	12,027
	前年度 上半期合計	414,820	215,044	110	629,974	581,433	48,541
	対前年度上半期比				▲ 9.5%	▲ 4.0%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：一円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	116 人	118 人	▲ 1.7 %
5月	116 人	117 人	▲ 0.9 %
6月	116 人	116 人	0.0 %
7月	116 人	117 人	▲ 0.9 %
8月	117 人	117 人	0.0 %
9月	117 人	117 人	0.0 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	732 人	698 人	702 人	▲ 4.7 %	▲ 0.6 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	○	児童、成人共に長期入所枠に若干の空きがあったため、目標利用者数を下回っているが、空きベッドについては短期入所や一時利用で活用されており、地域に住む障害者の在宅支援に貢献している。
③ その他特記事項	/	

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	2 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

指定管理2年目となり、引き続き利用者に大きな混乱もなく、順調な施設運営を行っている。
 また、地域の関係機関と連携し、加齢児の成人施設への移行や高齢者の特別養護老人ホームへの移行など、利用者の特性に応じた支援に取り組んでおり評価できる。
 今後も、個々の利用者のニーズに応じたきめ細かい支援を継続して欲しい。